



ハトのしあわせうり

ダヴィデ・カリ文 マルコ・ソマ絵 山下 愛純 訳

ふるぼけたトラックに乗って、ハトのしあわせうりがやってきた。「うそでしょ、しあわせなんてうってるの？」みんながほしがるしあわせて、なに？ イタリャらしいユーモアと、皮肉がきいた美しい絵本。

定価 2530 円・26 ページ・306×223 mm・5 歳～・978-4-911344-01-9



ホシムクドリがうたう歌

オクタヴィー・ウォルターズ 作 塩崎 香織 訳

歌をうたおう、ホシムクドリはおもった。こうやってみわたせば、せいかいはずてきなものにあふれているという歌。モノクロの版画からあふれ出す、彩りあざやかな人生の歌。

● 2022 年「銀の石筆賞」受賞作

定価 2420 円・26 ページ・286×205 mm・5 歳～・978-4-911344-02-6



とんでごらん!

ダヴィデ・カリ文 アダルジーザ・マゼッラ 絵 橋本あゆみ 訳

だれにでもやってくる、はじめてとぶ日。ちいさなマイコルは不安でいっぱい。心配ばかりで、いやな想像がふくらんじゃう！ コーチはそんなマイコルの話をじっくり聞いて、「だいじょうぶ」とはげましてくれます。

定価 2310 円・24 ページ・238×175 mm・4 歳～・978-4-911344-03-3



キノコカエルにきいてみよう 明日もけろりと生きていく

メイベル・イクエイ 作 はるのまき 訳

家事や身のまわりのこと、なにをするのもきついときは、てきとうでいいよ。しんどい日はシャツのしわをサッとのはずすくらいで十分。かんべきじゃなくていいの。背中をおしてほしいとき、よりそってほしいとき…キノコカエルに会いにいこう。そっと言葉をくれるから。

定価 2530 円・96 ページ・213×162mm・総ルビ・978-4-911344-06-4

書籍の
ご購入に
ついて

- 全国の書店、または右のQRコードから
最寄りの書店、インターネットでご注文、ご購入いただけます
- 下記の連絡先より直接お問い合わせいただけます
書名、冊数、お名前、お電話番号、ご住所をお送りください



株式会社アチェロ
滋賀県大津市桜野町 1-20-21

ご注文・
お問い合わせ

TEL 070-8507-8687 FAX 077-502-0414
MAIL order@acero-book.com



ACERO
Publishing

アチェロの絵本

空をとびたいルーカスと 世界でいちばん たかい本の山

ロシオ・ボニージャ 作
中井はるの 訳



SNSご感想キャンペーン開催中!

Instagram, Facebook, X
ご自身のSNSで以下の2つの
ハッシュタグをつけて、
アチェロの絵本のご感想を
アップして下さった方から

抽選で毎月2名様に
アチェロ刊行の
好きな絵本を
プレゼント!

アチェロ

お読みくださった書籍名

『空をとびたいルーカスと
世界でいちばんたかい
本の山』

定価 2310 円・40 ページ
213×162mm・5 歳～
978-4-911344-21-7
【2025 年 7 月刊行】

※いただいたご感想は販促に使用することがあります
※当選者のみにダイレクトメッセージをお送りいたします
(受信できない方は無効となりますのでご了承ください)

世界20カ国で注目を浴びる大人気絵本
想像力があれば、空だってとべる。

空をとびたい。ぼくはとぶために
なんでもやった。けどぜんぶうまく
いかない。どうか、空をとべる
つばさをください——そしたらマ
マが「とぶ方法は、ほかにもある
わ」といって1さつの本をくれた。
その日からぼくは本に夢中になっ
ていき……



読者から読者のみなさんへ

知らない世界を知りたい時
本を読もう！

旅先で見つけてぞっこんになった絵本
です。本を手にして読むことが世界を
広げるということを、軽やかなタッチ
で描いています。ルーカスくんという
存在は、本が苦手と思っていたあなた、
あるいは、本を読むのが大好きという
あなたの姿なのかもしれません。この
絵本はそんなあなたのそばに寄り添う
一冊となるはずです。

—— 中井はるの

ページをめくる先、余白という翼がきつとある。
本を読むということは、
しずかに世界を書きかえる魔法だ。

歴史・時代小説家

滋賀県在住の
直木賞作家

今村 翔吾 推薦

第166回直木賞受賞『塞王の楯』(集英社)『じんかん』(講談社)

ワークシヨップ

・テーマ・

本について考えよう！



- ・世界中には、本がいっぱい。
どんな本がすき？
- ・いままで読んだなかで
わすれられない一冊をおしえて。
- ・たのしみ方はひとそれぞれ。
あなたにとって、本はどんな存在？

／ アチエロ編集部できいてみたよ ／

「わすれられない一冊をおしえて」



『絶望名人カフカの人生論』(飛鳥新社)。面白
いわーと思っていたら、その後、絵本でカフカ
の作品に携われることに。運命かな♡ (Y)

宮沢賢治先生の幻想的な世界観に心を奪われ
た20代の頃。『銀河鉄道の夜』を読んでファン
タジーの切なさを学びました。(M)



本で初めて泣いたのが忘れられない…さくら
ももこ先生の『わたしの好きな歌』。ちびまる
子ちゃん、小学生時代の思い出です。(C)

『よいちとトンビ』(田島征三)。幼稚園のとき、
母が手ぬぐいハチマキ姿で読み聞かせに現
れたんです。おもしろかったなあ。(A)

